

上尾市平方地区堤防整備事業に関する説明会の開催概要について（令和3年12月19日（日）開催）

令和3年12月19日（日）10時より平方小学校において、現在上尾市平方地先で進めている堤防整備事業に関する説明会を開催し、平方地区の方々等、約50名が出席されました。

説明会では、令和3年9月21日に小堤工事区域内で発生した基礎地盤崩落の概要、原因と崩落箇所の対応方法、今後の堤防整備スケジュールなどに関する説明を行いました。

説明の概要

説明会では主に以下について説明しました。
（会場での主な意見や質疑概要は裏面に記載しています）

小堤工事区域内の基礎地盤崩落の原因と崩落箇所の対応方法等

- ① 追加地質調査の結果、崩落した箇所では、基礎地盤の氾濫平野（堆積土）が洪積層の斜面に形成されていることが確認されたため、鋼矢板等を用いた低水護岸を整備します。
- ② 河道内に崩落している土砂は、令和4年の出水期（6月）までに、河岸部の地盤改良を行い施工機械の安全性を確保した上で撤去します。
- ③ 令和4年出水期以降、開平橋から西野樋管までの区間について、低水護岸を整備して小堤を設置した後、用地交渉の進捗に合わせ、本堤工事を実施します。

今後の堤防整備スケジュール

- ④ 平方地区の堤防整備事業は、令和3年度より低水護岸・小堤を整備し、用地交渉の進捗に合わせ、市道や本堤を整備していきます。

※当地区の堤防整備に際しては、引き続き情報発信をしながら進めてまいります。地域の皆様のご理解ご協力が必要です。今後とも宜しくお願いいたします。



説明会の様子

※説明会会場で配布した資料は、荒川上流河川事務所ホームページに掲載していますので、詳細はそちらをご覧ください。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo01033.html>

荒川上流河川事務所HP
上尾市平方地区堤防整備事業の二次元コード



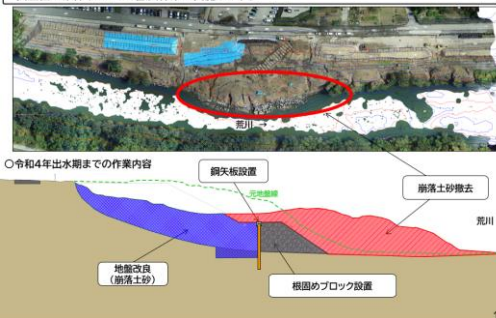
上尾市平方地区堤防整備事業に関する説明会

令和3年12月19日（日）10:00～11:30
上尾市平方小学校 体育館

荒川上流河川事務所

3. 今後の施工手順について（崩落箇所の対応方法）

・河道内の崩落土砂について、令和4年の出水期までに、河岸部の地盤改良を行い建設機械の安全性を確保した上で、撤去作業を実施します。



説明会会場で配布資料（抜粋）

お問い合わせ先

関東地方整備局荒川上流河川事務所 平日 8:30～17:15

堤防事業に関すること：調査課 049-246-6360 工事に関すること：工務課 049-246-6359

「説明会での主なご意見・質疑等について」

頂いた主なご意見と説明内容について

① 基礎地盤の確認状況は？

【回答】

- ・崩落箇所周辺では地盤の変位観測を行っており、崩落以降変位がない状況を確認しています。
- ・追加調査により崩落箇所以外でも崩落原因である洪積層の斜面形状が確認されたため、追加調査を行う予定です。
- ・今後の本堤整備に向けても、引き続き調査を進めていきます。

② 基礎地盤崩落に対して、どのような対策をとるのか？

【回答】

- ・崩落土砂の土量は約9,000m³を予定しており、令和4年の出水期（6月）までに建設機械の安全性を確保しながら撤去します。
- ・崩落箇所は、小堤の下の地盤から崩れており、崩落した地盤は地盤改良を行います。
- ・崩落土砂撤去にあたり鋼矢板を設置し、低水護岸を本設で施工します。低水護岸は開平橋から西野樋管まで整備する予定です。

③ 今のスケジュールで小堤は必要なのか？小堤を造らなければ、費用や時間を他に回せるのではないのか？

【回答】

- ・小堤の土は本堤に再利用しながら整備しますので、小堤が無駄になることはありません。また、小堤の整備により本堤の整備が遅れることはありません。

④ 市道の整備範囲はどこまでなのか？

【回答】

- ・現段階では、整備する市道は西野樋管の下流側までとなっていますが、その上流側については今後上尾市と調整していく予定です。

⑤ 雨水や地下水の排水処理は、どのように考えているのか？

【回答】

- ・当該地の雨水や地下水については表面排水をきちんと処理する必要があり、排水は本堤法尻に排水施設を整備し、開平橋下流に整備する排水樋管で排水する予定です。

⑥ 用地に関する地権者交渉は、いつから行うのか？

【回答】

- ・早い方で令和4年1月から順次実施する予定です。

⑦ 本堤整備後の水際や天端通路等を利活用したい

【回答】

- ・整備後の利活用方法については今後検討していきます。また、検討に当たっての地域の方との意見交換は、連絡協議会を通して進めていきたいと考えています。

⑧ 西野地区の今後の本堤の規模はどのくらいか、安全性はどのように確保するのか？

【回答】

- ・西野地区では現在の堤防より2m程度高くなる予定です。
- ・本堤の安全性については今後も地質調査を行い、必要な検討を行いながら整備していきます。

⑨ 東日本台風では堤防が無いところから水が溢れた。無堤防区間の暫定的な対策を含め、早期の堤防整備をお願いしたい。

【回答】

- ・無堤防区間については、平方地区に引き続き上流側の無堤防区間も堤防整備を行う予定です。
- ・無堤防区間の暫定対策については、今後検討していきます。